2024年度GBJ定時会員総会

18時30分の開始までお待ちください。

★皆様へのお願い事項★

①事前の参加登録がお済でない方で、議決権行使をされる方は、必ず出欠フォームに登録をお願いします。

②開始までに、ZOOMの名前設定を個人名（姓名）とし、法人会員の方は法人名を併記してください。

★皆様へのお願い事項★

③各議案に関するご質問に関しましては、全ての議案の説明後に時間をとらせていただきます。

また、開始45分後（19時15分）を目途に採決を予定しております。（19時30分総会終了）

総会の円滑な運営にご協力をお願いいたします。

2024年度 GBJ定時会員総会

（第12回）

2025年 2月18日　（火）
18:30～19:30
（対面・ONLINE開催）

議事予定

1．開会の辞

2．議長選出 および 総会成立要件の確認

3．議題

　第１号議案　2024年活動報告 および 2025年活動方針

・全体概要

・ワーキンググループ

・GBJシンポジウム

・学生オピニオンチャレンジ

・学生ユース

　第２号議案　決算報告 および 2025年予算案

　第３号議案　GBJ役員改選

4．質疑応答

5．決議

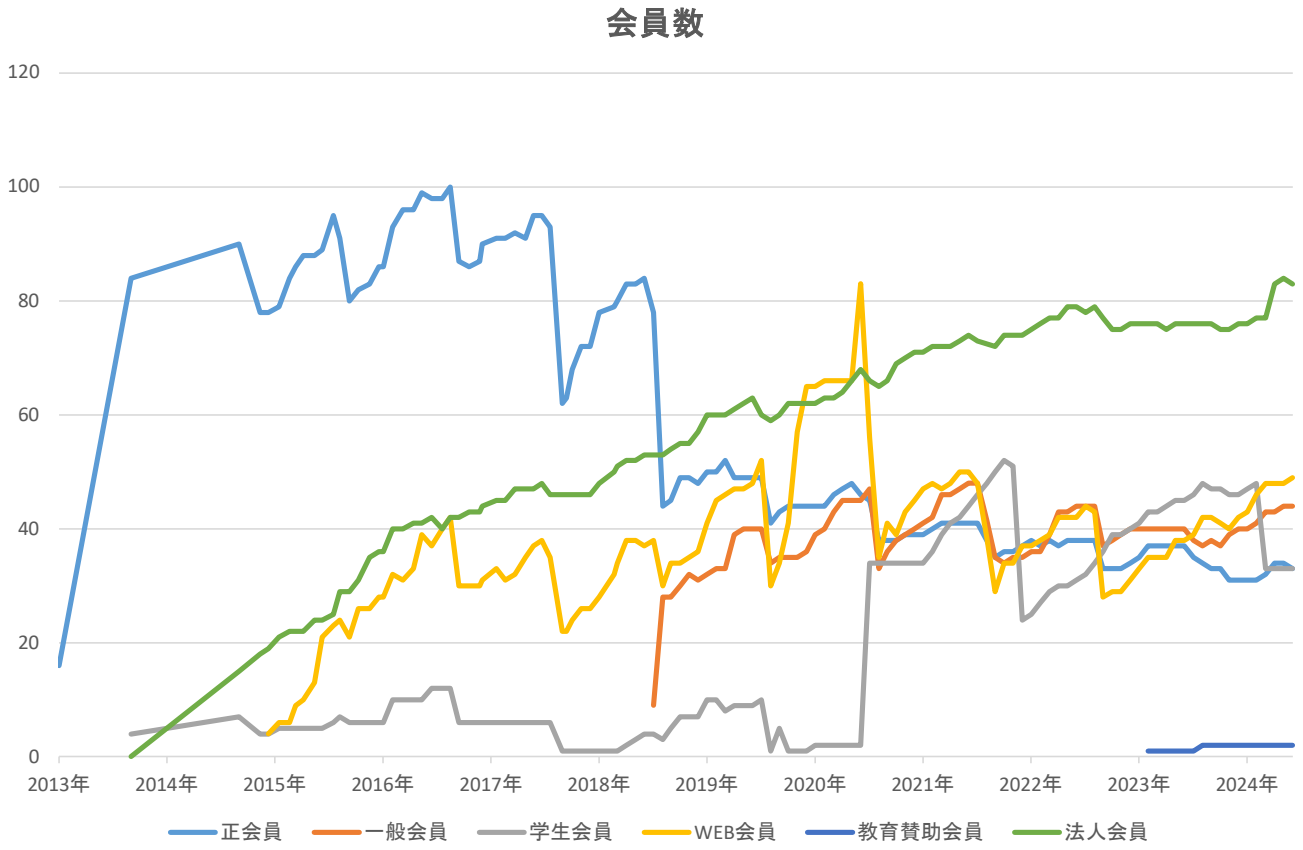
6．閉会の辞

3．第１号議案　2024年活動報告　会員数

■ 会員数の変化

2024年１月＞2024年12月

- 法人正会員：76 > 82
  - 直近１年での加入法人（敬称略）
    住商ビルマネージメント、ウィリディスMEPエンジニアリング、サンゴバン、日本ヒルティ、カルモア、one building、uHoo Pte Ltd、Alyssa Partners Japan、Hines Japan Real Estate、GOYOH、玄海キャピタルマネジメント
- 正会員　：35 > 33
- 一般会員：38 > 44
- 学生会員：46 > 33
- Web会員：39 > 49
- 教育機関賛助会員：1 > 2
- メルマガ読者：3,026 > 3,064



3．第１号議案　2024年活動報告　SNSフォロワー数

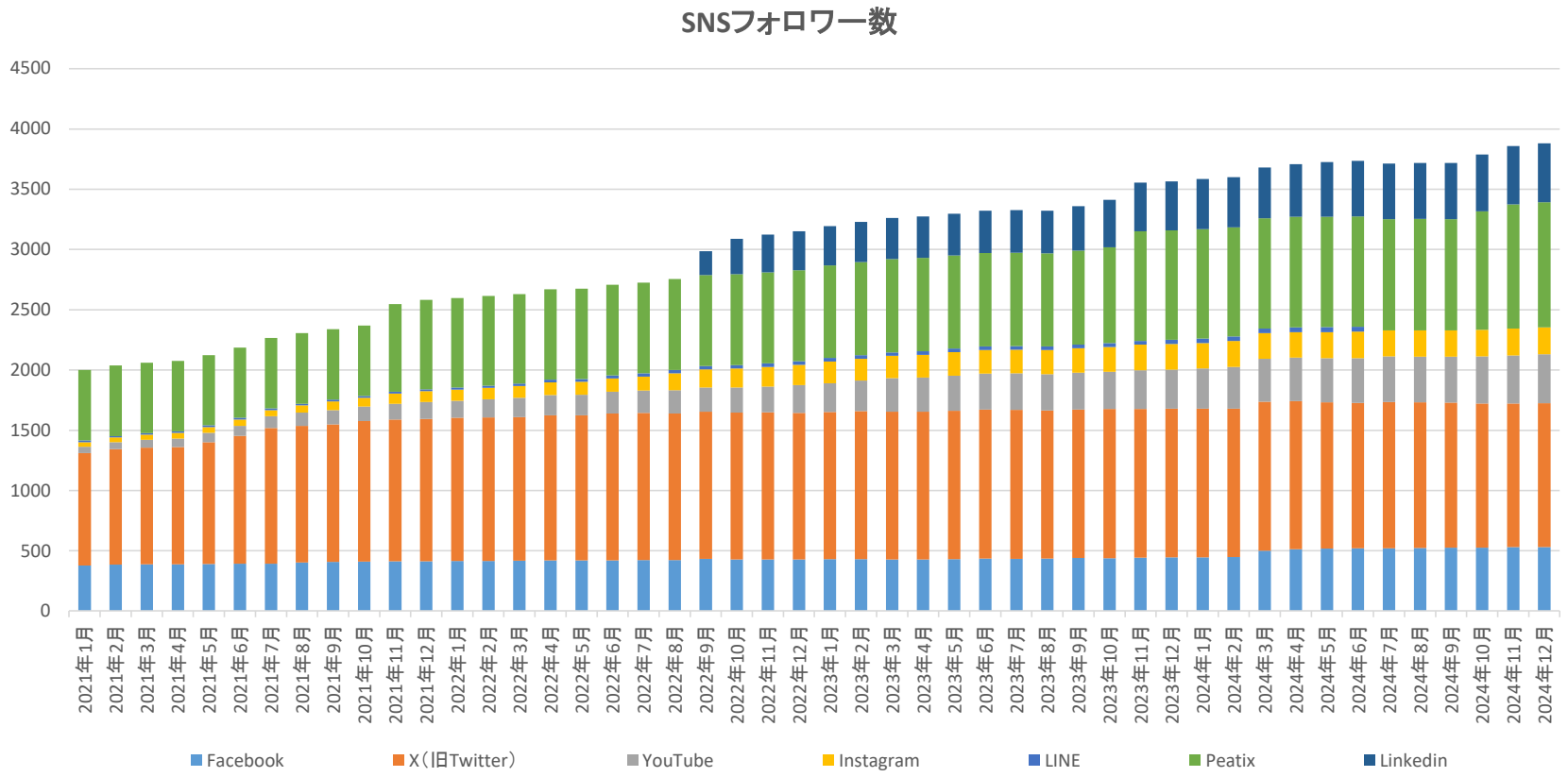
■SNSフォロワー数の変化

2024年1月 ＞ 2024年12月

- Facebook : 446 > 530
- X（旧Twitter） : 1,234 > 1,195
- YouTube : 333 > 405
- Instagram : 211 > 224
- Peatix : 908 > 1,037
- Linkedin : 416 > 490

※ Facebookは2024年4月1日より
ページ移行しました。
フォロワー数は旧ページのフォロワー数と
合算しています。

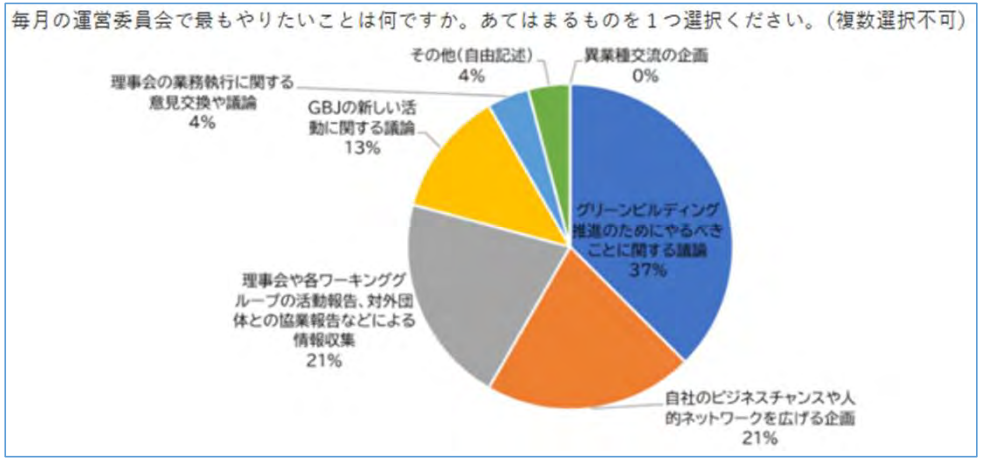
※ LINEは2024年6月30日付で運用停止、
アカウント閉鎖しました。



3．第１号議案　2024年活動報告

会員サービスの向上

・2024GBJ会員アンケートを行い、結果を会員に報告し、ホームページにも掲載しました。
・会員アンケートで要望のあったリアル運営委員会を２回開催し、GBJの目指すべき方向などのディスカッションを行いました。
・法人会員とのエンゲージメント向上を目的に10月にランチョンを開催しました。
・会員からの要望により、法人アカウントを複数個登録可能にしました。
・プロップテックおよび不動産ＡＭ関連企業向けの法人会員会費無料キャンペーンを行い8社が新規加入して頂きました。（協賛：Eminence Partners様）



3．第１号議案　2024年活動報告

USGBC、USGBC North Asiaとの連携

・USGBC North Asiaメンバーとは、3月と7月のテクニカルセミナーおよび10月のシンポジウムで連携を深めました。

・7月にはUSGBCメンバーも来日し、LEED v5にかかる日本喫煙ACPの対応等で連携を深める事ができました。

IWBIとの連携

・東京で開催されたWELL Regional SummitにIn-kindスポンサーとして参加しました。

事務局運営の効率化

・会員管理のシステム化や情報発信のスケジュール化、運営委員会・セミナー等に関わる事務局業務のマニュアル化などを実施し、運営の効率改善に努めました。

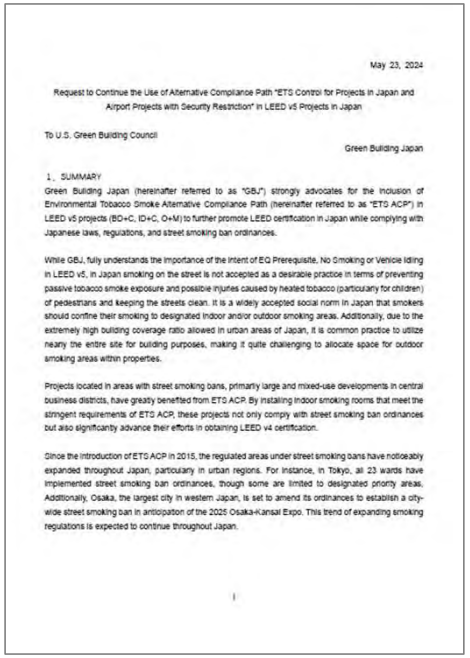
・Polarisへの業務委託後の事務局運営コストは削減傾向であり効率的な運営が可能となりました。

3．第１号議案　2024年活動報告

LEED v5で日本向け喫煙室設置の代替パス（喫煙室ACP）の使用を認めてもらう活動

【課題】LEED v5ドラフトでは「路上禁煙条例有無に関わらず喫煙室設置ができない」

・5月　　第1回パブリックコメントで、路上禁煙条例地区には喫煙室ACPが必要と呼びかける英文案と手順を運営委員に配布、日本から多数のパブリックコメントが提出されたGBJからもコメントをUSGBCに送付した



May 23, 2024

Request to Continue the Use of Alternative Compliance Path "ETS Control for Projects in Japan and Airport Projects with Security Restriction" in LEED v5 Projects in Japan

To U.S. Green Building Council

Green Building Japan

1. SUMMARY

Green Building Japan (hereinafter referred to as "GBJ") strongly advocates for the inclusion of Environmental Tobacco Smoke Alternative Compliance Path (hereinafter referred to as "ETS ACP") in LEED v5 projects (BD+C, ID+C, O+M) to further promote LEED certification in Japan while complying with Japanese laws, regulations, and street smoking ban ordinances.

While GBJ, fully understands the importance of the intent of EQ Prerequisite, No Smoking or Vehicle Idling in LEED v5, in Japan smoking on the street is not accepted as a desirable practice in terms of preventing passive tobacco smoke exposure and possible injuries caused by heated tobacco (particularly for children) of pedestrians and keeping the streets clean. It is a widely accepted social norm in Japan that smokers should confine their smoking to designated indoor and/or outdoor smoking areas. Additionally, due to the extremely high building coverage ratio allowed in urban areas of Japan, it is common practice to utilize nearly the entire site for building purposes, making it quite challenging to allocate space for outdoor smoking areas within properties.

Projects located in areas with street smoking bans, primarily large and mixed-use developments in central business districts, have greatly benefited from ETS ACP. By installing indoor smoking rooms that meet the stringent requirements of ETS ACP, these projects not only comply with street smoking ban ordinances but also significantly advance their efforts in obtaining LEED v4 certification.

Since the introduction of ETS ACP in 2015, the regulated areas under street smoking bans have noticeably expanded throughout Japan, particularly in urban regions. For instance, in Tokyo, all 23 wards have implemented street smoking ban ordinances, though some are limited to designated priority areas. Additionally, Osaka, the largest city in western Japan, is set to amend its ordinances to establish a city-wide street smoking ban in anticipation of the 2025 Osaka-Kansai Expo. This trend of expanding smoking regulations is expected to continue throughout Japan.

1

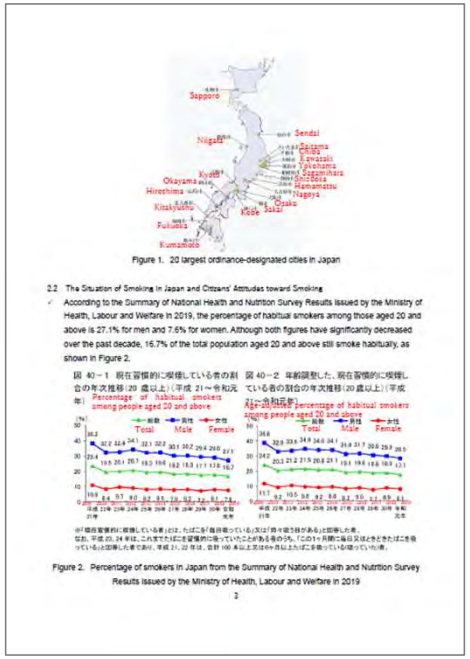


Figure 1. 20 largest ordinance-designated cities in Japan

2.2 The Situation of Smoking in Japan and Citizens' Attitudes toward Smoking

✓ According to the Summary of National Health and Nutrition Survey Results issued by the Ministry of Health, Labour and Welfare in 2019, the percentage of habitual smokers among those aged 20 and above is 27.1% for men and 7.6% for women. Although both figures have significantly decreased over the past decade, 16.7% of the total population aged 20 and above still smoke habitually, as shown in Figure 2.

図 40－1 現在習慣的に喫煙している者の割合の年次推移（20 歳以上）（平成 21～令和元年）

Percentage of habitual smokers among people aged 20 and above

Total Male Female

図 40－2 年齢調整した、現在習慣的に喫煙している者の割合の年次推移（20 歳以上）（平成 21～令和元年）

Age-adjusted percentage of habitual smokers among people aged 20 and above

Total Male Female

Figure 2. Percentage of smokers in Japan from the Summary of National Health and Nutrition Survey Results issued by the Ministry of Health, Labour and Welfare in 2019

3

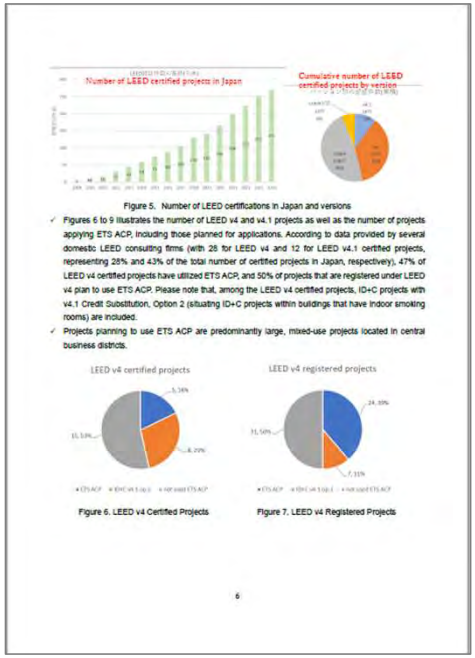


Figure 5. Number of LEED certifications in Japan and versions

✓ Figures 6 to 9 illustrates the number of LEED v4 and v4.1 projects as well as the number of projects applying ETS ACP, including those planned for applications. According to data provided by several domestic LEED consulting firms (with 28 for LEED v4 and 12 for LEED v4.1 certified projects, representing 28% and 43% of the total number of certified projects in Japan, respectively), 47% of LEED v4 certified projects have utilized ETS ACP, and 50% of projects that are registered under LEED v4 plan to use ETS ACP. Please note that, among the LEED v4 certified projects, ID+C projects with v4.1 Credit Substitution, Option 2 (situating ID+C projects within buildings that have indoor smoking rooms) are included.

✓ Projects planning to use ETS ACP are predominantly large, mixed-use projects located in central business districts.

Figure 6. LEED v4 Certified Projects

Figure 7. LEED v4 Registered Projects

6

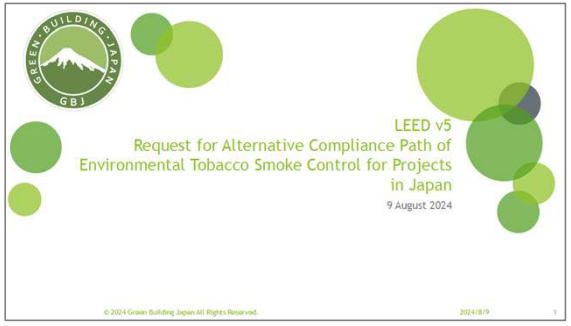
3．第１号議案　2024年活動報告

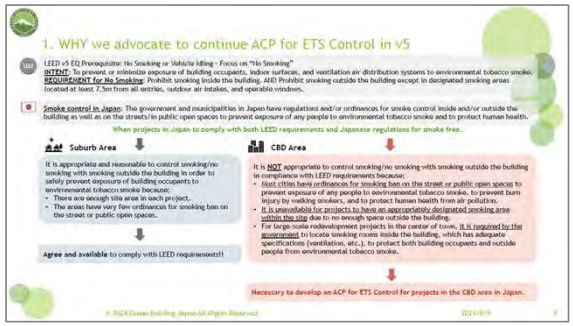
LEED v5で日本向け喫煙室設置の代替パス（喫煙室ACP）の使用を認めてもらう活動

・6～8月　喫煙室ACP TF(13人)を立ち上げ、交渉ロジック、日本の法令・条例調査、
　　日本案件の分析の3チームに分かれて活動、交渉資料を作成した
　　法人会員3社にも事例提供のご協力を頂いた

・7月26日 来日中のUSGBC幹部、USGBC NAに都内でプレゼンテーション、協力を依頼

・8月9日　正式にUSGBCへ提出





・9月　　「LEED認証と喫煙室に関するアンケート調査」実施
　　日本ファシリティマネジメント協会、不動産協会にも情報拡散のご協力を頂いた

・10月1日 USGBC幹部とオンライン会議、**喫煙室ACPを認める**と口頭回答を得た

3．第１号議案　2024年活動報告　セミナーWG

- 2024年は5件のセミナーおよび見学会を開催しました。
- 2024年からUSGBC North Asiaが講師を務めるテクニカルセミナー（年2回）を開始。
- テクニカルセミナー後は、会場にてノンアルコールの交流会も行い、最新情報交換の場を作りました。
- 2024年から主査を4半期ごとの輪番制としました。各WGメンバーへの負荷を平準化しながら、より主体的に関わることより、セミナーWGの活動を充実させる事ができました。

開催日	タイトル	講師（敬称略）
3月28日	【セミナー】 USGBC North Asia テクニカルセミナー No.1　～今こそLEED Zero：Elevating Sustainability with LEED Zero to achieve carbon neutrality～	Brown (Chenbo Xu)他、USGBC North Asia
4月19日	【見学会】 AGC株式会社 鹿島工場 見学会	AGC株式会社　鹿島工場
7月26日	【セミナー】 USGBC North Asia テクニカルセミナー No.2　～LEED最新版による既存建物のアップグレード：Upgrade and green operation of existing buildings～	Stella Cai 他、USGBC North Asia
11月29日	【セミナー】「断熱」が日本を救う？～断熱ジャーナリストが語る、健康、経済、脱炭素に効く話～	高橋 真樹 対談者：柳瀬 真紀
12月26日	【セミナー】「WELL」の最新動向と健康・ウェルビーイング建築への取組	木下 泰、沢田 英一

3．第１号議案　2025年活動方針　セミナーWG

- GBJ所属会員にとって、役に立つセミナーを実施
- 最新情報、事例などを各専門家から解説/紹介や意見交換
- 運営体制については、2024年に引き続き輪番制（月例会チェアー、GBJ運営委員会報告）を継続

【取り組みたいテーマ】

1. 他ワーキンググループとの積極的な連携
    1. ワーキンググループの活動内容をベースとしたセミナー開催
2. USGBC (North Asia)によるテクニカルセミナー (2回)
3. 現地見学会
    1. LEED/WELL認証取得建物に留まらず、サステイナビリティに意義のある現地見学の場をつくる（サーキュラーエコノミー、断熱など）
4. ワーキンググループの生産性向上
    1. 録画や配信の外注先やGBJ事務局と協力し、セミナー主査、当日ボランティアと役割分担し、効率的なセミナー運営を行う。

３．第１号議案　　2024年の活動報告　WELL WG

【会員間での知見の共有】

・WELL勉強会

・WELL認証取得プロジェクト「JLL 東京オフィス」見学会開催

【情報発信】

・セミナーWGとの連携

・IWBI 記事の抄訳

・GBJ WELL ブックレットの内容更新

・新規情報のシェア（四半期毎の改定、WELL案件数の動向）

3．第１号議案　　2024年の活動報告　WELL WG

【会員間での知見の共有】

・WELL勉強会

氏名	勉強会担当月	発表テーマ
宮崎 淳	2024年　1月	CASBEE-WO
今井 康博	3月	Leveraging WELL to Advance Social Sustainability
沢田 英一	3月	WELL for residential
大柴 研太	5月	植物の配置によるウェルビーイング効果
似内 志朗	5月	Fitwel
村上 正吾	7月	大成建設関西支店 GREEN RENEWAL ZEB
澤田 享	9月	パナソニックHD 技術部門 西門真新棟計画
木下 泰	9月	Leveraging WELL to Advance Social Sustainability

氏名	勉強会担当月	発表テーマ
向野 能里子	11月	企業ESG評価スコアアップ活動と不動産ESG認証のシナジー効果
穂積　潤一	11月	パナソニック システムソリューション開発センター（SSDC）WELL認証再認証
山﨑 正裕	2025年　1月	
吉野 攝津子	1月	
宮崎 淳	3月	
澤 靖夫	3月	
石田 恒章	5月	
沢田 英一	5月	

3．第１号議案　　2024年の活動報告　WELL WG

【会員間での知見の共有】

・WELL認証取得プロジェクト「JLL 東京オフィス」見学会開催

・見学先：JLL 東京オフィス（v2 pilot Platinum）

・日　時　：10/4 14:00-16:00

・見学者：WELL WGメンバー、運営委員会委員他、合計15名

３．第１号議案　　2024年の活動報告　WELL WG

【情報発信】

・セミナーWGとの連携

12月26日開催　第81回GBJセミナー
「WELL」の最新動向と健康・ウェルビーイング建築への取組

講師
木下 泰：WELL認証の概要と最新動向
～Social Sustainabilityへの取組とWELL認証が企業開示とサステナビリティ・ファイナンスにおいて果たす役割 ～

沢田英一：新評価システム「WELL for residential」の概要と事例紹介

3．第１号議案　　2024年の活動報告　WELL WG

【情報発信】

・IWBI 記事の抄訳

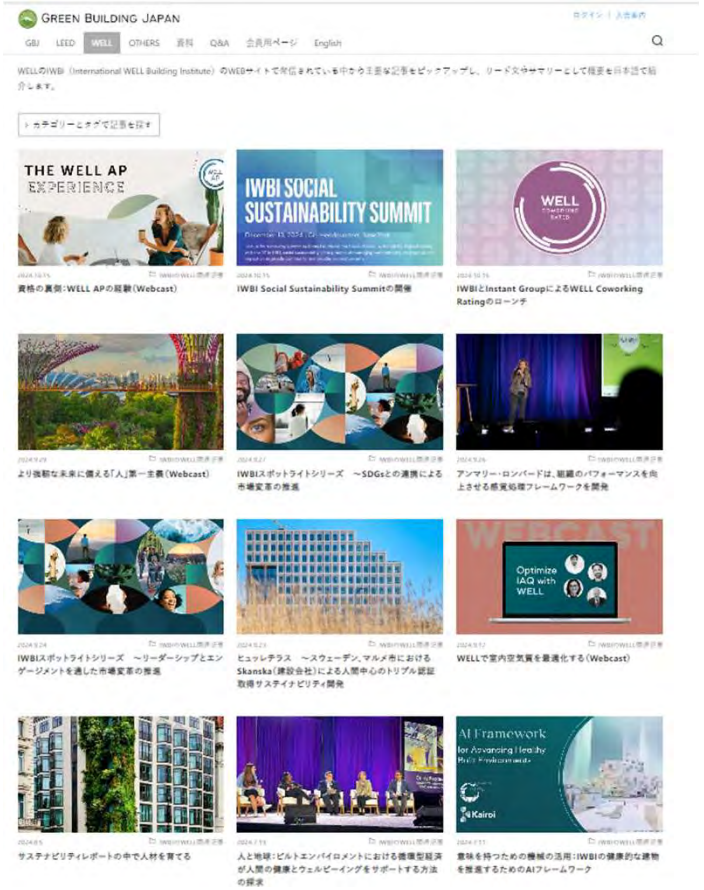
	担当月	提出	担当者
2024年	１月分	2/7	澤田 享
	２月分	3/7	菱田 哲也
	３月分	4/7	今井 康博
	４月分	5/7	沢田 英一
	５月分	6/7	向野 能里子
	６月分	7/7	齋藤 敦子
	７月分	8/7	吉野 攝津子
	８月分	9/7	大柴 研太
	９月分	10/7	似内 志朗
	１０月分	11/7	木下 泰
	１１月分	12/7	穂積　潤一
	１２月分	1/7	澤田 享

	担当月	提出	担当者
2025年	１月分	2/7	菱田 哲也
	２月分	3/7	澤 靖夫
	３月分	4/7	石田 恒章
	４月分	5/7	今井 康博
	５月分	6/7	沢田 英一
	６月分	7/7	向野 能里子
	７月分	8/7	齋藤 敦子
	８月分	9/7	吉野 攝津子
	９月分	10/7	大柴 研太
	１０月分	11/7	似内 志朗
	１１月分	12/7	木下 泰
	１２月分	1/7	穂積　潤一
2026年	１月分	2/7	澤田 享
	２月分	3/7	菱田哲也

3．第１号議案　　2024年の活動報告　WELL WG

【情報発信】

・IWBI 記事の抄訳



（GBJ ホームページhttps://www.gbj.or.jp/category/iwbi_articles/）

３．第１号議案　　2025年活動予定　　WELL WG

【会員間での知見の共有】

・WELLに関連する文献・書籍等の輪読

・WELL認証取得プロジェクト見学会の実施

・AAP/IEPの提案

【情報発信】

・IWBI 記事の抄訳

・GBJ WELL HPの内容更新

・新規情報のシェア（四半期毎の改定、WELL案件数の動向）

【広報活動・他団体への支援】

・随時

予算申請：０円

3．第１号議案　2024年活動報告　コンテンツWG

・第74回GBJセミナー
　『GBJサイトの歩き方　～大通りから脇道まで！』の開催

・毎月メールマガジンで紹介する、USGBC抄訳付き記事の作成

・GBJブックレットの改訂
　（GBJシンポジウムに合わせて）

・GBJウェブサイトの改修
　　過去セミナー動画の公開対応
　　LEEDNDの説明文の推敲
　　WELLﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄのHP掲載対応-事業者折衝

・LEED、WELL認証件数推移の確認と資料の作成

3．第１号議案　2024年活動報告　コンテンツWG

・LinkedIn 掲載用プロジェクトインタビュー記事の作成（年４回以上）
　１）グラングリーン大阪（LEED ND）
　２）日本設計本社（LEED ID+C）
　３）麻布台ヒルズ（LEED ND）
　４）清水建設 NOVARE（LEED BD+C）

・LEED/WELLマテリアルライブラリーページの更新
　⇒ EPD認証取得製品公開の推進

・GBJブックレットの改訂（2024年10月）

・メールマガジンで紹介する、USGBC抄訳付き記事の作成（毎月）
・USGBC North Asia ニュースレターの日本語化作業への協力（毎月）

3．第１号議案　2025年活動方針　コンテンツ WG

・LinkedIn 掲載用プロジェクトインタビュー記事の作成
⇒　年４回、LEED認証取得プロジェクトにインタビューして
LinkedInの記事として掲載する

・メールマガジンで紹介する、USGBC抄訳付き記事の作成（毎月）

・USGBC North Asia ニュースレターの日本語化作業への協力（毎月）

・GBJブックレットの改訂
⇒　GBJシンポジウム2024の時期に合わせて

・GBJウェブサイトの、最新情報への更新
⇒　ブックレット更新情報の反映等

３．第１号議案　2024年活動報告　　LEEDテクニカルWG

2024年の活動報告

VOC ACP
- LEED基準とJISの比較

LEEDv5禁煙必須項目ACP
- LEEDv5 ETS ACP臨時TFをサポート

LEEDv5パブリックコメント
- LEEDv5パブリックコメント1回目、2回目検討会及びコメントの実施

３．第１号議案　2025年活動方針　　LEEDテクニカルWG

2025年の活動予定

LEEDv5勉強会
- テクニカルWG＋GBJ会員（法人、個人）臨時参加可能で予定

ASHRAE 90.1 2019勉強会
- テクニカルWG＋GBJ会員（法人、個人）臨時参加可能で予定

3．第１号議案　2024年活動報告 GBJシンポジウム

- 人にとっても幸せな脱炭素社会を目指すべく、具体的な都市・建築の在るべき姿について語り合いたいと考え、**『都市と建築のグリーン化 新たなまちづくりのビジョン～構想から実践へ 脱炭素の次なるステップ～』**をテーマとして掲げました。
- 都市・建築・開発・文化・サステナビリティ・イノベーションの分野を牽引する論客が登壇するパネルディスカッションを開催し、ハード・ソフト面など多角的なディスカッションを行いました。
- パネルディスカッション終了後には参加者同士の交流を深めるためのネットワーキング（交流会）を企画。エシカルフードを中心とした軽食をご用意し、サスティナブルな活動のブース出展も見ていただきました。
- また、今回は初の試みであるウェビナーを配信しました。

日時/場所：2024年10月24日（木）13:00～18:00　神田明神ホール（オンライン同時配信なし）

主題：都市と建築のグリーン化 新たなまちづくりのビジョン～構想から実践へ 脱炭素の次なるステップ～

主催：GBJ、USGBC

協賛：株式会社カルモア、サンゴバングループ

展示：6社

参加費：無料（Peatixより事前登録）

参加数：200名

シンポジウムの録画動画をWEBにて無料公開

3．第１号議案　2024年活動報告 GBJシンポジウム

オープニングリマーク

GBJ共同代表理事　木下 泰氏

USGBC挨拶

Jing Wang Vice President of USGBC & GBCI North Asia

パネルディスカッション

「都市と建築のグリーン化 新たなまちづくりのビジョン」

第一部

相浦 みどり 様：建築家、PLPアーキテクチャー パートナー

飯田 美樹 様：カフェ文化、パブリック・ライフ研究家

東浦 亮典 様：東急株式会社 常務執行役員

平松 宏城 様：LEEDフェロー／GBJ共同創設者、

株式会社ヴォンエルフ・株式会社Arc Japan 代表取締役、合同会社ロンポワン 共同経営者

齋藤 敦子 様：GBJ運営委員、コクヨ株式会社、一般社団法人 Future Center Alliance Japan 理事

モデレーター：似内 志朗 氏　GBJ運営委員、ファシリティデザインラボ代表

3．第１号議案　2024年活動報告 GBJシンポジウム

パネルディスカッション

第二部

馬場 正尊 様：建築家、株式会社オープンA 代表取締役社長

藤間 朋久 様：GBJ学生ユース2024年度代表、東京大学 工学部

相浦 みどり 様：建築家、PLPアーキテクチャー パートナー

飯田 美樹 様：カフェ文化、パブリック・ライフ研究家

東浦 亮典 様：東急株式会社 常務執行役員

平松 宏城 様：LEEDフェロー／GBJ共同創設者、株式会社ヴォンエルフ・株式会社Arc Japan 代表取締役、合同会社ロンポワン 共同経営者

齋藤 敦子 様：GBJ運営委員、コクヨ株式会社、一般社団法人 Future Center Alliance Japan 理事

モデレーター：似内 志朗 氏　GBJ運営委員、ファシリティデザインラボ代表

クロージングリマーク

GBJ共同代表理事　柳瀬真紀 氏

LEEDプラークセレモニー

プレゼンター　Andy To　Managing Director of USGBC & GBCI North Asia

3．第１号議案　2024年活動報告 GBJシンポジウム

展示会

LEEDやWELLといったグリーンビルディングに求められる製品やサービスを提供している企業の展示を行いました。

【出展企業】※申込順

プロシオンジャパン様

TOPPAN株式会社 環境デザイン事業部様

株式会社カルモア様

環境・省エネルギー計算センター様

池上産業株式会社様

サンゴバングループ様

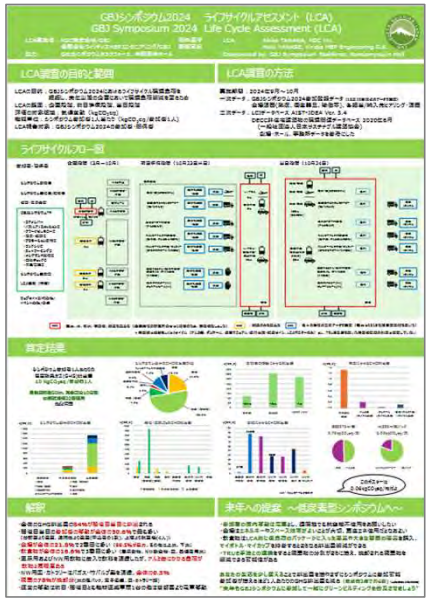
ウェビナー

本シンポジウムのテーマのもと環境配慮に関する取組みや実績やグリーンビルディングに関する情報をオンデマンド配信しました。無料視聴に加え、LEEDに関する教育セッションであるCEアワーを取得することが可能な有料ウェビナーも用意しました。

3．第１号議案　2024年活動報告 GBJシンポジウム

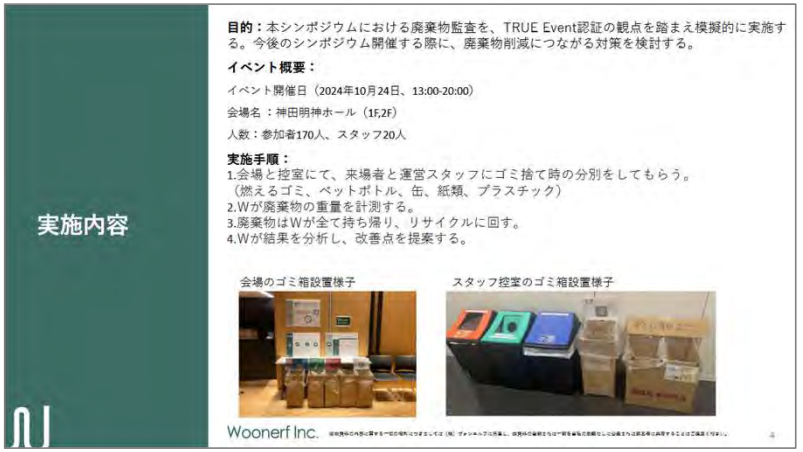
GBJシンポジウム2024におけるイベントLCAの算定

シンポジウムTF、神田明神ホールの協力を得て、GBJ運営委員有志により
シンポジウムイベントのLCA算定を行いました。
シンポジウム参加者1人あたりの温室効果ガス（GHG）排出量は
10kgCO2eq/人でした。



GBJシンポジウム2024におけるTRUE認証手法を用いた廃棄物監査結果

法人会員である株式会社ヴォンエルフの協力により
TRUE認証手法を用いた廃棄物監査を実施しました。
TRUE認証手法を用いた廃棄物監査結果は、
リサイクル率64.6%でした。



3．第１号議案　2025年活動方針 GBJシンポジウム

2024年シンポジウムについて

日時/場所　：2025年10月16日午後、場所：神田明神ホール

開催方法　：リアル開催（オンライン同時配信なしの予定）

主　　催　：GBJ、USGBC

スポンサー：6月より募集予定

テ　ー　マ：2～3月中に素案、5月にUSGBC/GBCIと協議し確定

参　加　費：無料（予定）

・2025年も、**グリーンビルディングの裾野を広げる**ことを目的として**リアル開催**とする予定です
・設立15周年（2028年）、設立20周年（2033年）は2023年と同規模のシンポジウムを開催することとし、2024年に続き、2025年も**若干規模を縮小**した上で準備期間を長めに確保し、**人的・予算的にも持続可能なシンポジウム**をめざします
・GBJ会員の積極的な参加を求め、**参加型シンポジウム**とします

３．第１号議案　2024年活動報告 学生オピニオンCH

・GBJ学生ユースの活動支援
・学生イベント開催・共催・参加
・学校、学生とのつながりづくり

6月5日	【交流会】 訪日したグアテマラ大学生との意見交換・交流会
6月9日	【ワークショップ】 GBJ学生ユースと環境系学生団体FORESTさんと共同イベントに参加
8月20日	【職場見学会】鹿島建設・GBJの活動について紹介（高校生）
12月4日	【活動検討・交流会】 GBJ学生ユースの今後の活動を広げていくため学生ユースOB・OG、GBJメンバーにて活動検討会、交流会を実施
１月20日	広尾学園へのヒアリング
各月	【打合せ】GBJ学生ユースの活動支援

３．第１号議案　2025年活動方針 学生オピニオンCH

【ＧＢＪ学生ユースとの連携】

・日常活動、イベント活動への支援や参画

【外部の新しいネットワークづくり】

・外部学生団体

・大学・高校・中学

【既存や新しいネットワークを活かした活動】

・会員企業と学生の接点づくり（企業訪問、見学会、職場体験）

・学校でのセミナー・ワークショップ・勉強会の実施

３．第１号議案　2024年活動報告　学生ユース

Discord参加メンバー 13名（高校生1名、大学生12名）

おもな活動内容: グリーンビルの学習やイベントの開催

●渋谷ソラスタ見学（3月）

●グアテマラ学生交流会（6月）

●高校生向けWS（6月）
- 学生団体FORESTさんと協働

●オンライン交流会（7月）
- 学生団体CLoverさんと協働

●メンバー内勉強会（不定期）

3．第１号議案　2025年活動方針　学生ユース

◆GBJ運営委員会・WGへのオブザーバー参加・プロジェクト協力
(GBJやグリーンビルについての理解向上、コンテンツの提案 など)

◆勉強会や見学会の実施
(ユース同士の交流の機会を昨年度よりも増やすために、見学会以外にも学ぶ機会を作る)

◆ユースとGBJのつながりについて
(ユースで企画書を作成中)

◆GBJ主催シンポジウムへの参加
(ユース目線の情報発信)

◆SNS, ウェブサイトでの広報活動
(メンバー・GBJ学生会員の獲得、ウェブサイトの充実 など)

◆Arc School 学生プロジェクト、出前授業の展開
(過去のプロジェクトのフィードバック・新規プロジェクトの実施 ・GBJ負担による学生向けProfessional Account取得など)

３．第１号議案　2025年活動方針（理事会）

更なる活性化・発信力強化・次世代育成・法人連携・運営最適化

以下の5つの柱を中心に活動を展開し、より開かれた活気ある組織づくりを行い、更なる社会的インパクトの実現を目指します。

１．更なる活性化

・運営委員会に新しいメンバーが関与しやすい仕組み作りを行う（例えば、2層化など）
・アクティブな会員を増やす取り組みを行う事で、運営委員会の活性化を目指す
・GBJアラムナイの組織化や法人会員U-35取り込みで、多様なメンバーの参加促進を図る

２．対外発信の強化

・情報発信を会員外に広げることを強化（英語発信・国際連携・理事やアラムナイの講演）
・法人ショートプレゼンのスケールアップと双方向化（よりインタラクティブな議論の場）
・グリーンビルド等、国際イベントへの積極参加

３．第１号議案　2025年活動方針（理事会）

３．若手・次世代の育成

・法人会員企業とGBJユースの連携強化

・法人会員、個人会員の子弟向けの活動推進とGBJユースとのコラボレーション（インターン、ワークショップ、子弟向けイベント等）

・法人会員内のU-35世代の取り込み強化

４．法人会員向けコミュニティイベントの拡充

・法人会員とのコミュニケーション強化のため、シンポジウム以外の定期イベント実施の検討

・ステークホルダーと交流を深める楽しい活動の導入

５．組織運営の更なる最適化

・事務局運営の更なる自立化・高度化

・理事会のスリム化による持続性維持と中期的なサクセッションプラン策定

3．第２号議案　2024年決算報告（貸借対照表）

貸　借　対　照　表

一般社団法人グリーンビルディングジャパン

［税込］（単位：円）

令和6年12月31日　現在

資産の部		負債の部	
科　目	金　額	科　目	金　額
【流動資産】		【流動負債】	
（現金・預金）		未払　費用	391,363
現　　金	0	前　受　金	2,550,000
普通　預金	30,406,543	預　り　金	20,301
預　け　金	333,304	未払消費税等	106,200
現金・預金 計	30,739,847	未払法人税等	714,400
（売上債権）			
未　収　金	0	流動負債合計	3,782,264
売上債権 計	0	**負債合計**	**3,782,264**
（その他流動資産）		正味財産の部	
前払　費用	75,180	前期繰越正味財産	23,041,319
未収還付法人税等	0	当期正味財産増減額	4,321,824
その他流動資産　計	75,180	**正味財産合計**	**27,363,143**
流動資産合計	30,815,027		
【固定資産】			
（無形固定資産）			
ソフトウェア	199,650		
無形固定資産　計	199,650		
（投資その他の資産）			
差入保証金	130,730		
	130,730		
固定資産合計	330,380		
資産合計	**31,145,407**	**負債及び正味財産合計**	**31,145,407**

3．第２号議案　2024年決算報告（活動計算書）

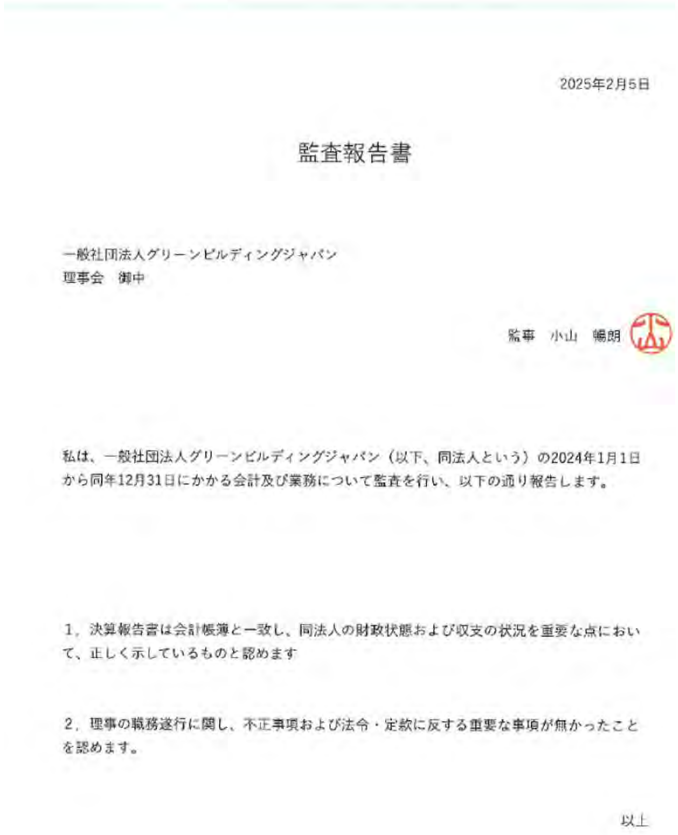
2024年度

	科目		前年度実績	予算額	決算額	差異	摘要
収入の部	受取会費		9,406,500	10,037,000	9,850,970	▲ 186,030	正会員、一般会員、法人会員、web会員
	セミナー受講費		285,500	84,000	470,000	386,000	セミナー収入等
	協賛金収入		550,000	1,000,000	1,870,000	870,000	法人無料キャンペーン協賛金、シンポジウム協賛金、シンポジウム展示ブース出展料
	受取利息		234	100	3,126	3,026	
	受取寄付金		0	0	0	0	
	雑収入		9,279,873	8,960,000	9,964,384	1,004,384	GBCIレベニューシェアUS$63,985(US$1=155.73円)
収入合計			19,522,107	20,081,100	22,158,480	2,077,380	
支出の部	人件費	給与手当	0	0	0	0	常勤職員なし
		法定福利費	0	0	0	0	
		業務委託費	4,753,090	1,800,000	0	▲ 1,800,000	支払報酬に計上
	小計		4,753,090	1,800,000	0	▲ 1,800,000	
	事業費	新聞図書費	0	100,000	29,964	▲ 70,036	ASHRAE90.1 2019 186ドル
		会議費	120,050	200,000	472,784	272,784	交流会費を会議費で計上
		研修費	0	100,000	0	▲ 100,000	
		広告宣伝費	251,417	500,000	0	▲ 500,000	
		旅費交通費	318,211	600,000	497,813	▲ 102,187	講師、運営委員、理事の国内長距離移動費
		交流会費	412,500	400,000	0	▲ 400,000	
		通信費	112,855	200,000	127,658	▲ 72,342	メールサーバー、送料
		消耗品費	359,578	600,000	317,373	▲ 282,627	freee、セミナー・シンポジウム飲食代、メールワイズ・kintone利用料、印刷代
		賃借料	1,390,976	950,000	2,046,641	1,096,641	登記住所への賃貸料、レンタルボックス、次期シンポジウム会場費を含む
		減価償却費	217,800	200,000	217,800	17,800	ソフトウェアの減価償却
		諸会費	636,655	450,000	471,865	21,865	WGBC会費：US$3000（US$1=157.28円換算）、SMBCカード年会費
		施設使用料	0	600,000	0	▲ 600,000	神田明神ホール利用料
		保険料	0	0	0	0	
		支払報酬	1,191,197	2,500,000	6,474,707	3,974,707	各種外注費（税理士・司法書士・登壇謝礼・動画等作成他）、予算上の支払手数料の一部を支払報酬で計上
		租税公課	29,385	80,000	107,431	27,431	
		支払手数料	9,015,082	10,420,000	6,286,456	▲ 4,133,544	シンポ運営費・会場・特設サイト制作、セミナー運営、事務局、ネットバンク利用料
		交際費	5,238	20,000	8,652	▲ 11,348	第77回セミナー手土産代
		雑費他	110,303	160,000	63,112	▲ 96,888	Paypal、Peatix手数料
	小計		14,171,247	18,080,000	17,122,256	▲ 957,744	
支出合計			18,924,337	19,880,000	17,122,256	▲ 2,757,744	
為替損益			-71,681	0	0	0	
当期税引前財産増減額			526,089	201,100	5,036,224	4,835,124	
法人税住民税事業税			86,500	100,000	714,400	614,400	
当期正味財産増減額			439,589	101,100	4,321,824	4,220,724	

3．第２号議案　2024年決算報告（まとめ）

- 収入関連
  - ✓ ネット法人会員数、個人会員数の微増により、会費収入が対2023年度微増しました。対予算比では若干の未達となります。
  - ✓ 協賛金、展示ブース料は当初予算額を約130万円上回りました
  - ✓ 円安によりUSGBC/GBCIと固定金額でのレベニューシェアの円貨ベース手取りが対予算比1百万円増となりました
- 経費関連
  - ✓ 外部委託先によるGBJ事務局業務の経験値向上による支出減
    - 外部委託2年目となり、委託先での経験値向上により対予算比で約80万円減となりました
  - ✓ 運営委員会リアル会場費用
    - 一部法人会員よりの会場費用負担があったため当初想定よりも約40万円減となりました
  - ✓ GBJセミナーの外部発注
    - セミナーWGの負担軽減を目的として、ONLINE配信業務の外部委託を継続しました
  - ✓ シンポジウム関連
    - 協賛金収入を含め、15周年シンポ用引き当てをねん出できる形で実施しました
  - ✓ 学生会費の実質無料化継続
    - 将来の個人会員確保及びサステナブル・エデュケーション積極化の見地より継続しました

3．第２号議案　2024年決算報告（監査結果）



2025年2月5日

監査報告書

一般社団法人グリーンビルディングジャパン
理事会　御中

監事　小山　暢朗

私は、一般社団法人グリーンビルディングジャパン（以下、同法人という）の2024年1月1日から同年12月31日にかかる会計及び業務について監査を行い、以下の通り報告します。

1．決算報告書は会計帳簿と一致し、同法人の財政状態および収支の状況を重要な点において、正しく示しているものと認めます

2．理事の職務遂行に関し、不正事項および法令・定款に反する重要な事項が無かったことを認めます。

以上

3．第２号議案　2025年予算案（方針）

*2025*年予算のキーワード ⇒ 更なる活性化、発信力強化、次世代育成、法人連系、運営最適化

・**更なる活性化**

アクティブな会員を増やす取り組みを行う事で、運営委員会の活性化を目指し、そのためのコミュニティイベント、法人会員U-35取り込み向けの予算措置を行いました

・**対外発信の強化**

GBJの存在感を高めるために情報発信を会員外に広げるため、WEB運営費用増加、会員誘致向けイベント費用、WGBC会員の継続を行いました

・**若手・次世代の育成**

法人会員企業とGBJユースの連携強化、会員子弟向けイベント実施のための予算措置を行いました

・**法人連携**

法人会員とのコミュニケーション強化のため、シンポジウム以外の定期イベント実施の予算措置を行いました

・**運営最適化**

理事会の人数を5名から4名に減らし、理事会の持続可能な運営を目指すこととし、理事が担当していた事務の更なる事務局への移管を実施していくための予算措置をおこないました

3. 第２号議案　2025年予算案（活動計算書）

2025年度

	科目		前年度予算額	前年度実績	予算額	前年度予算との差異	摘要
収入の部	受取会費		10,037,000	9,850,970	9,911,000	▲ 126,000	正会員、一般会員、法人会員、web会、新規法人会員(グリーン5社＊半年)
	セミナー受講費		84,000	470,000	34,000	▲ 50,000	セミナー収入
	協賛金収入		1,000,000	1,870,000	1,464,000	464,000	シンポジウム協賛金、シンポジウム展示ブース出展料
	受取利息		100	3,126	2,000	1,900	
	受取寄付金		0	0	0	0	
	雑収入		8,960,000	9,964,384	9,280,000	320,000	GBCIレベニューシェアUS$64,000(US$1=145円)
収入合計			20,081,100	22,158,480	20,691,000	609,900	
支出の部	人件費	給与手当	0	0	0	0	常勤職員なし
		法定福利費	0	0	0	0	常勤職員なし
		業務委託費	1,800,000	0	1,380,000	▲ 420,000	業務委託ベース事務局スタッフ報酬
	小計		1,800,000	0	1,380,000	▲ 420,000	
	事業費	新聞図書費	100,000	29,964	100,000	0	基準書購入
		会議費	200,000	472,784	1,300,000	1,100,000	シンポジウムケータリング、法人ネットワーキング、会員コミュニティイベント、ユース交流会
		研修費	100,000	0	100,000	0	前年度予算額と同一
		広告宣伝費	500,000	0	110,000	▲ 390,000	PRワイヤー原稿作成
		旅費交通費	600,000	497,813	600,000	0	講師及び運営委員の国内長距離移動費
		交流会費	400,000	0	0	▲ 400,000	シンポジウムケータリング、法人ネットワーキング、会員コミュニティイベント、ユース交流会
		通信費	200,000	127,658	450,000	250,000	メールサーバー、送料、会計ソフト・LCA IDEAサブスクリプション等
		消耗品費	600,000	317,373	600,000	0	freee、セミナー・シンポジウム飲食代、メールワイズ・kintone利用料、印刷代
		賃借料	950,000	2,046,641	720,000	▲ 230,000	登記住所への賃貸料、倉庫賃料
		減価償却費	200,000	217,800	200,000	0	ソフトウェア減価償却
		諸会費	450,000	471,865	506,400	56,400	WGBC会費：US$3000（US$1=160円換算）、SMBCカード年会費
		施設使用料	600,000	0	2,820,000	2,220,000	神田明神ホール利用料(242万円を支払手数料より勘定替)、セミナー外部ホール使用料
		保険料	0	0	0	0	
		支払報酬	2,500,000	6,474,707	6,462,800	3,962,800	各種外注費（税理士・司法書士・登壇謝礼・動画等作成他）
		租税公課	80,000	107,431	80,000	0	前年度予算額と同一
		支払手数料	10,420,000	6,286,456	6,462,800	▲ 3,957,200	シンポ運営費・特設サイト制作、セミナー運営、事務局、ネットバンク利用料
		交際費	20,000	8,652	20,000	0	セミナー等手土産代
		雑費他	160,000	63,112	160,000	0	Paypal、Peatix手数料
	小計		18,080,000	17,122,256	20,692,000	2,612,000	
支出合計			19,880,000	17,122,256	22,072,000	2,192,000	
為替損益			0	0	0	0	
当期税引前財産増減額			201,100	5,036,224	-1,381,000	▲ 1,582,100	
法人税住民税事業税			100,000	714,400	100,000	0	
当期正味財産増減額			101,100	4,321,824	-1,481,000	▲ 1,582,100	

2025年度予算の補足説明資料

- 収入　約2,000万円を予定

受取会費	1,000万円
協賛金（シンポ以外）・セミナー受講費	150万円
レベニューシェア	900万円
収入合計	2,050万円

- 支出　約2,200万円弱を予定

シンポジウム費用（2024年より約10%増を想定）・法人ランチョン費用	900万円
事務局業務外部委託費	570万円
セミナー配信外部委託費・機材更新・謝礼	220万円
会員コミュニケーション活性化費用（新規イベント等）	60万円
事務所家賃、IT関連費用	120万円
WG、学生ユース費用	130万円
税理士、司法書士、ウェブサイト保守管理等への外注費用	80万円
WGBC年会費、税金、その他予備費	120万円
支出合計	2,200万円

当該資料についてはGBJ会員以外に開示しないようにお願いいたします

3．第３号議案　2025年　GBJ役員改選

＜新任＞

理事	南　章子
監事	柳瀬　真紀

＜再任＞

理事	木下　泰
理事	橋本　誠
理事	松永和幸

＜退任＞

代表理事	柳瀬　真紀
理事	水谷　佳奈
監事	小山　暢朗

4. 質疑応答

5. 決議

第１号議案　2024年活動報告　および　2025年活動方針

第２号議案　決算報告　および　2025年予算案

第３号議案　GBJ役員改選

2024年度　GBJ定時会員総会（第12回）　閉会

ご参加ありがとうございました。

引き続き参考資料の説明をします。

新任理事・監事挨拶

＜新任理事略歴＞

理事　南　章子

日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社 ディレクター

LEED AP BD+C/ND、WELL AP、一級建築士、認定コンストラクション・マネジャー

建築設計事務所勤務を経て、Ove Arup and Partners Japan Limitedにて、外資系企業プロジェクトのPM業務、建築にかかる調査・アドバイザリー業務、環境認証コンサルティング業務等に従事。現在、日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社にて建築建設プロジェクトのPM/CMの他、環境認証を含むサスティナビリティコンサルティングを行っています。

GBJには2024年から運営委員会およびテクニカルWGに参画しています。LEED/WELL等をとおしてグリーンビルディングの普及に努め、よりサスティナブルな建築や都市の構築を目指します。

監事　柳瀬　真紀

合同会社ウィリディスMEPエンジニアリング　代表社員

LEED AP BD＋C / O+M / ND, WELL AP、技術士（衛生工学部門）、設備設計一級建築士

建設会社で様々な用途規模の建築物の設備設計に20年間従事。その後、第三者認証機関を経て独立。環境認証・ZEBを含む建築物のサステナビリティに関するコンサルティング業務を実施中。

GBJには2017年より運営委員会、テクニカルWGに参画、2023～2024年共同代表理事。

健全な地球環境、生態系の上に、快適かつ健康なコミュニティや社会や都市、その上に成り立つ経済的繁栄と社会的公正。そんな姿を目指して少しでも貢献していきたいと思います。

理事会体制

代表理事	（再任）	木下　泰
理　　事	（再任）	橋本　誠
理　　事	（再任）	松永　和幸
理　　事	（新任）	南　　章子
監　　事	（新任）	柳瀬　真紀

退任理事挨拶

＜新任＞

理事	南　章子
監事	柳瀬　真紀

＜再任＞

代表理事	木下　泰
理事	橋本　誠
理事	松永和幸

＜退任＞

代表理事	柳瀬　真紀
理事	水谷　佳奈
監事	小山　暢朗

全てのプログラムを終了いたします。
ご出席ありがとうございました。